

防災品奏功事例 ～舞台袖幕焼損事例～

広島県福山地区消防組合消防局

日本防災協会では、防災品の使用と適切な初期消火活動などにより、火の勢いと延焼拡大を抑え、ご自身の安全と建物の被害をくい止めた事例を紹介しています。

今回は、福山地区消防組合消防局管内での奏功事例をご紹介します。

1 出火時期

令和6年7月

2 構造用途・出火箇所

SRC造11階／1複合施設 2階文化ホール舞台部

3 出火原因

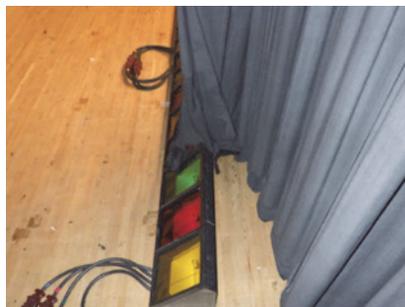
文化ホールの舞台部に設けられた、点灯中の照明器具と袖幕が接触し出火したものと見られる。

4 奏功概要

袖幕の一部が焼損しましたが、防災性能を有する袖幕を使用していたため延焼の拡大を防ぎ、適切な消火活動により延焼を最小限に食い止めることができました。



袖幕の状況



照明器具と袖幕が接している状況



防災物品ラベル

防災表示の状況

1-1 防災品の奏功事例

発災年月日 令和5年5月

概要

この火災は、事務所の会議室で、何らかの原因でカーペットが焼損したものです。防災性能を有したカーペットを使用していたため、いつ出火したか分からない火災でしたが、床面への延焼を防ぐことができました。



1-2 防災品の奏功事例

発災年月日 令和5年12月

概要

この火災は、老人ホームの居室で、凹面鏡に反射した太陽光が床面上で収れんし、内壁若干とカーペット若干が焼損したものです。防災性能を有するカーペットを使用していたため、床面への延焼を防ぐことができました。

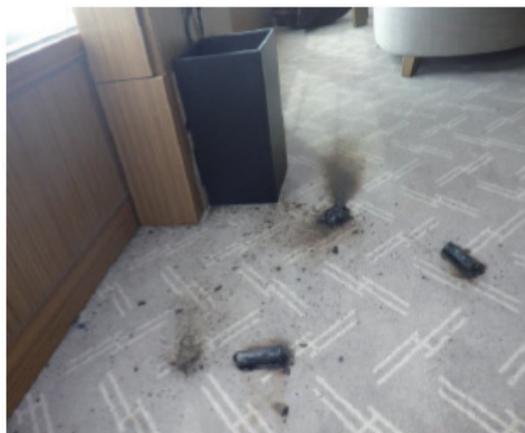


1-3 防災品の奏功事例

発災年月日 令和6年6月

概要

この火災は、ホテル客室内において、モバイルバッテリー、ポーチ、紙若干及びカーテン若干並びにカーペット若干が焼損した建物ほや火災です。防災対象物品であるカーテンとカーペットが奏効し、延焼拡大の防止に繋がりました。



1-4 防災品の奏功事例

発災年月日 令和6年4月

概要

この火災は、ホテルの客室内において、樹脂製のごみ箱から出火したものです。

ごみ箱は完全に焼失していますが、使用しているじゅうたんが防災品であったため、周囲に燃え広がることなく、一部焼損にとどまりました。



出火前を復元した状況



じゅうたんの焼損状況